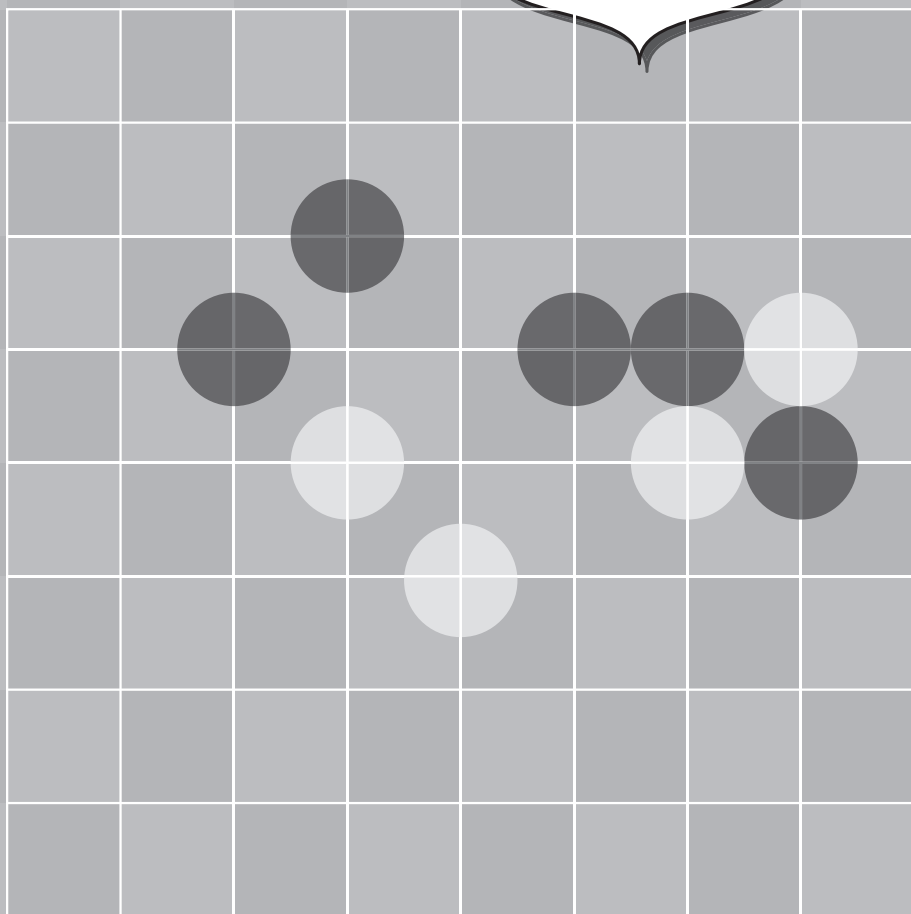


囲碁入門 ネクスト

9路盤



1

日本棋院

第5章

目次

はじめに――2／基本の道具――4／基本のマナー――5／基本ルールの復習――6

第1章 模範碁〈前半〜中盤〉――11

第2章 基本ルールをふまえた戦い方――21

ルール2 「縦横の線で隣り合った石は二つの仲間になる」の戦い方――22

ルール3 「線の出ていない石は取れる」の戦い方――27

ルール5 「線が出ない所でも、相手の石を取れる場合は置ける」の戦い方――33

第3章 石の強弱と攻防――41

石の強弱を見分ける――42／相手の石を攻める――47／自分の石を守る――53

第4章 石を取る技――61

「3手の読み」を考える――62／「両アタリ」で攻める――63／「オイオトシ」で攻める――69／「シチヨウ」で攻める――75

第5章 総合問題――83

おわりに――94

コラム……囲碁は「打つ」もの――20／囲碁とコンピューター――40／囲碁の別称――60／囲碁を愛した偉人――82

第5章

総合問題

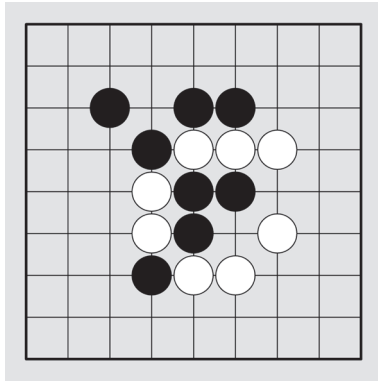
総合問題で読みの訓練をしましょう。
読みの力を鍛えることが、
実戦でも大いに役に立ちます

総合問題

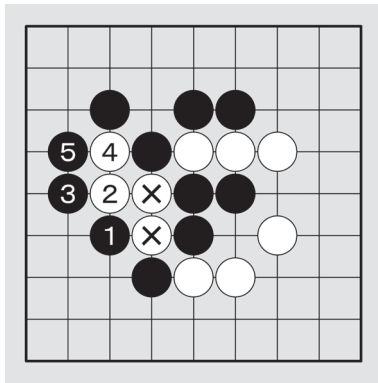
総合問題は本書で学んだことを基礎として、少しレベルアップした問題を出しています。

問題はすべて黒の番で考えていただきます。「3手の読み」を活用して、最後に白石を取り上げるところまで考えてください。

例題

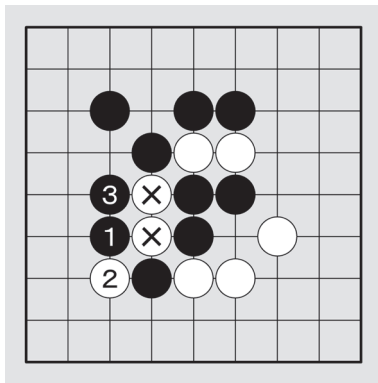


正解図



....> ○×4

参考図

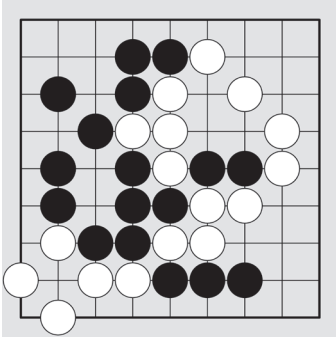


....> ○×2

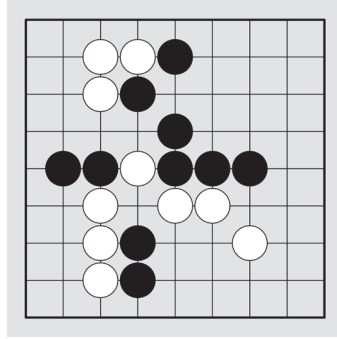
シチョウウの問題は、最大5手まで読む問題もあります。例題はシチョウウの5手読みの問題です。正解図の進行なら②・④・⑤の4子を取られますが、白も最大限に抵抗した図になります。参考図の②だと、③まで⑤を取れてしまい白の抵抗不足と

いえます。相手の手を考える時も、「最善を尽くすことを前提とした読み」で考えてください。ただし、実戦では2手目以降は相手の対応によって変わってきますので、1手目が合えば正解と考えていただいてかまいません。

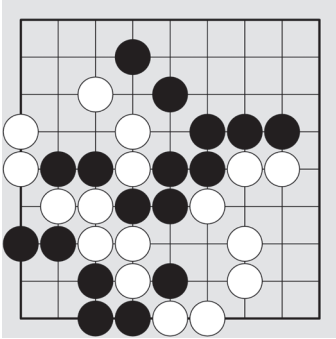
第 112 問



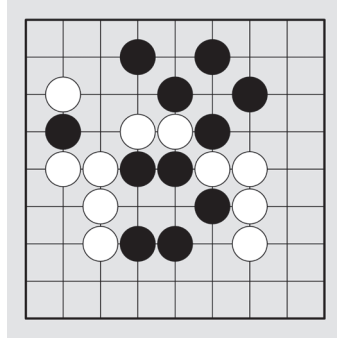
第 109 問



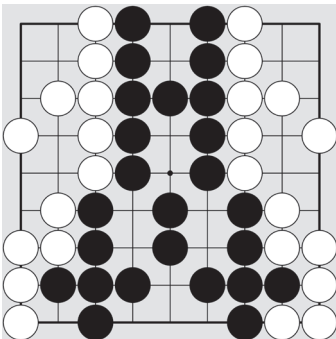
第 113 問



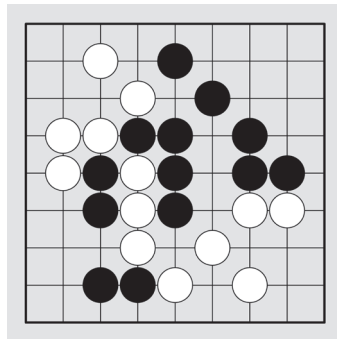
第 110 問



第 114 問

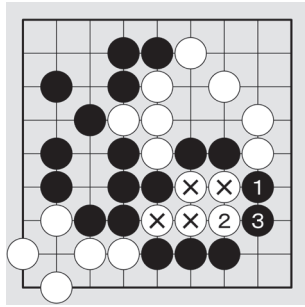


第 111 問

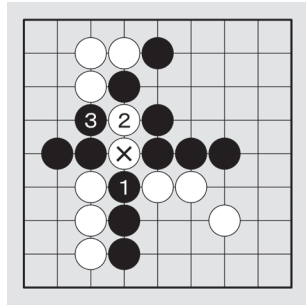


黒番です。3手先まで置いて
白を取ってください

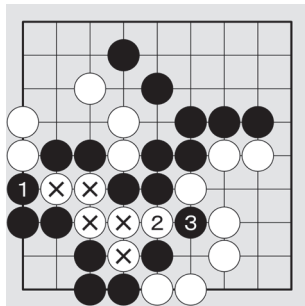
第 112 問



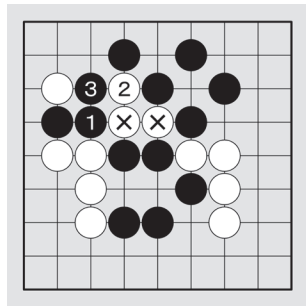
第 109 問



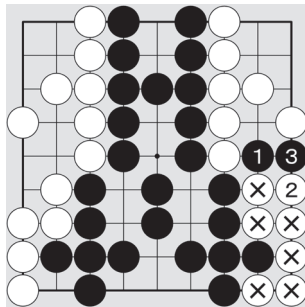
第 113 問



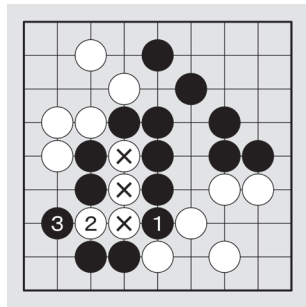
第 110 問



第 114 問

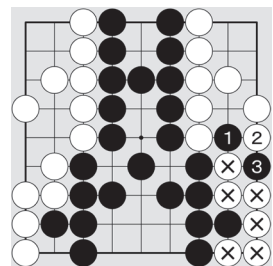


第 111 問

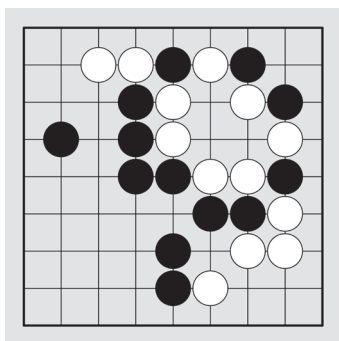


第 114 問 参考

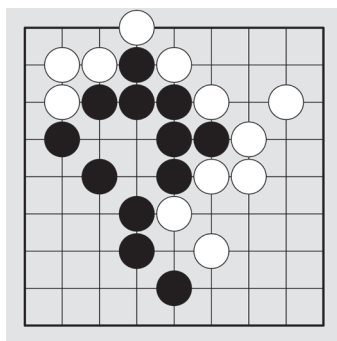
① に対しての白の良い手は、②で「1子でも少なく助からない白石を捨てること」という考え方もあります。総合問題の解答図は、白が全部の仲間を助けようと最大限に抵抗して、大きく取られてしまう図を示しています。



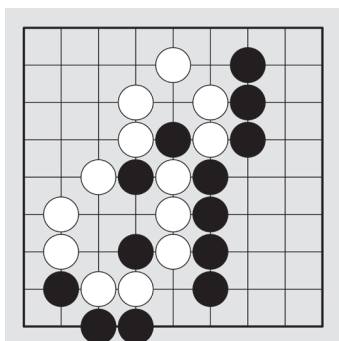
第 118 問



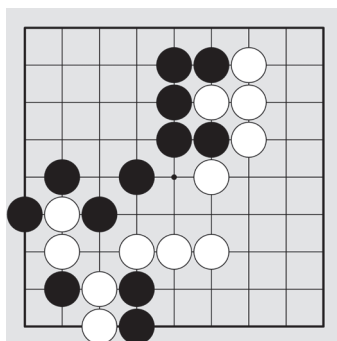
第 115 問



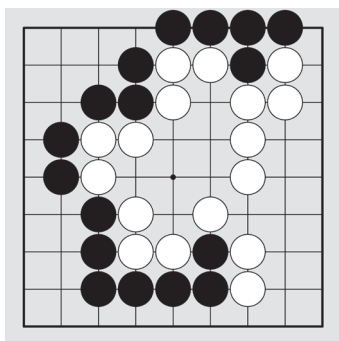
第 119 問



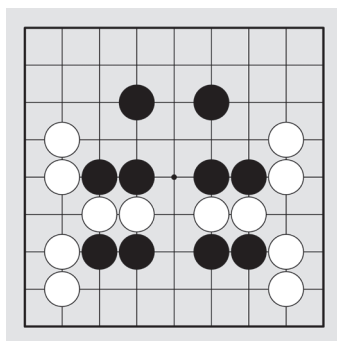
第 116 問



第 120 問

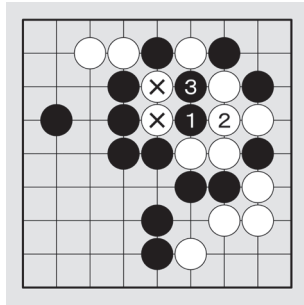


第 117 問

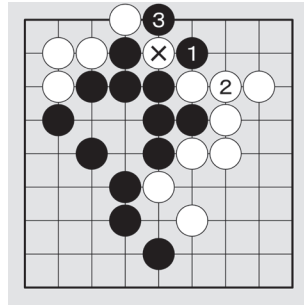


黒番です。3手先まで置いて
両アタリで白を取ってください

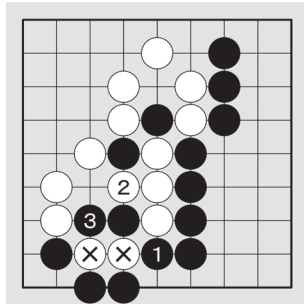
第 118 問



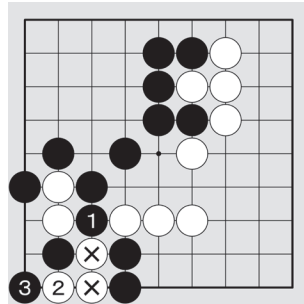
第 115 問



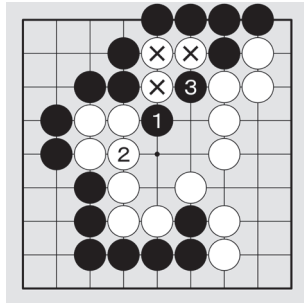
第 119 問



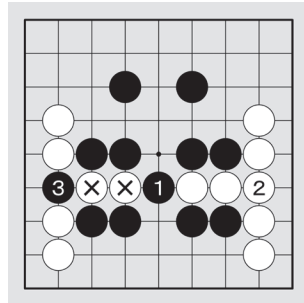
第 116 問



第 120 問



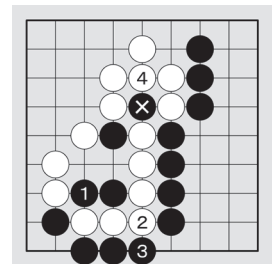
第 117 問



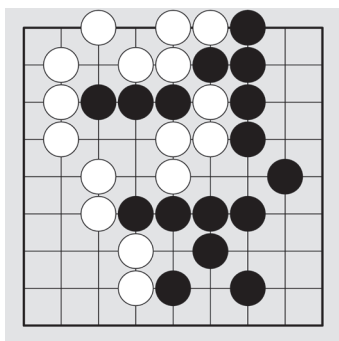
解答は一通りあります。①は共通ですが、解答図の②と③が入れ替わった解答も正解です

第 119 問 参考

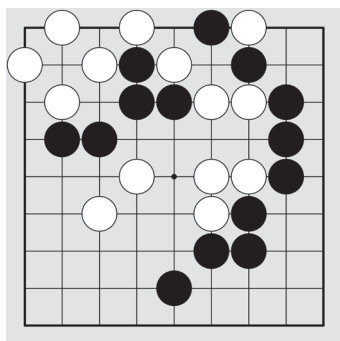
①からアタリにすると、白2でつながれてしまいます。③で再度アタリにしても、④でXを取られてはつかまえることはできません。一度に1カ所だけのアタリでは、参考図のように相手に逃げられてしまう可能性があります。



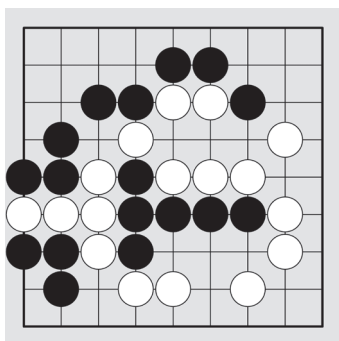
第 124 問



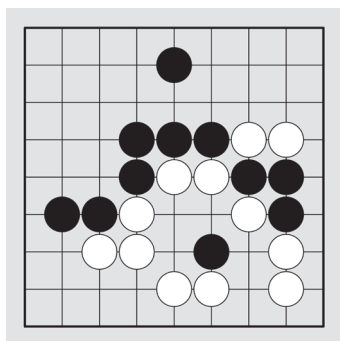
第 121 問



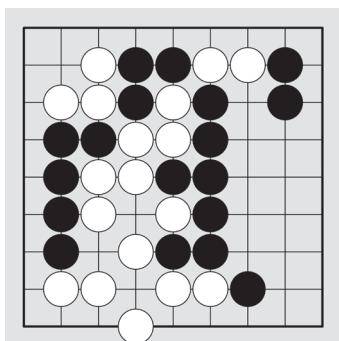
第 125 問



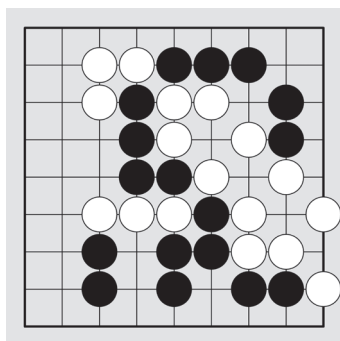
第 122 問



第 126 問

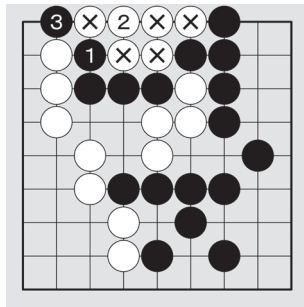


第 123 問

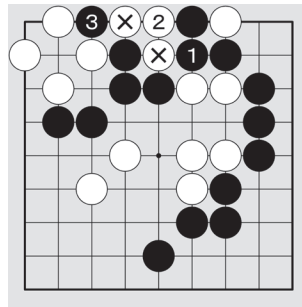


黒番です。3手先まで置いて
オイオトシで白を取ってください

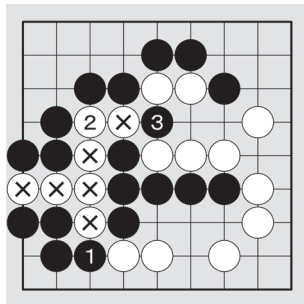
第 124 問



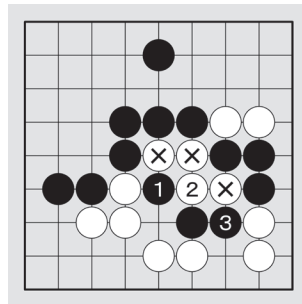
第 121 問



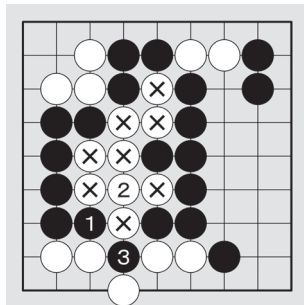
第 125 問



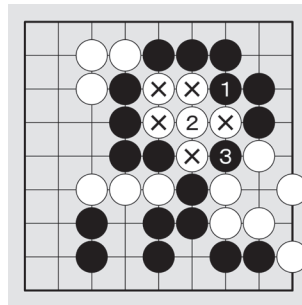
第 122 問



第 126 問

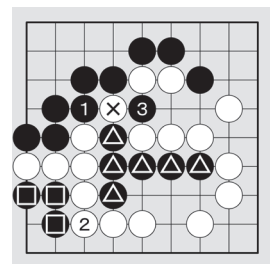


第 123 問

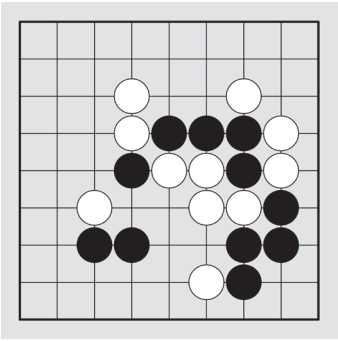


第 125 問 参考

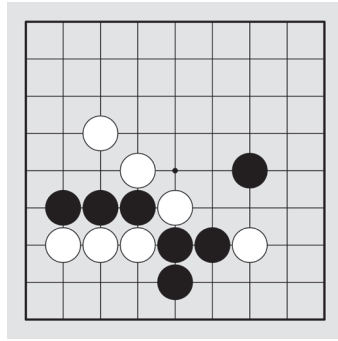
①の両アタリは②につながれて失敗です。③で⊗を取ると△は助かるのですが、正解図なら取れていた白に逃げられたうえに、⊙は助かりません。自分と相手の最善手を読むことが、このような失敗を防ぐのです。



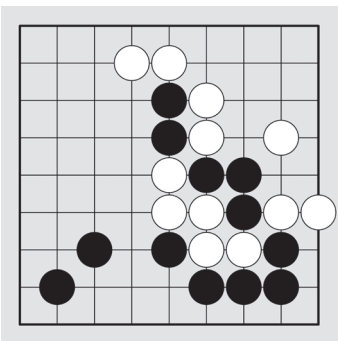
第 130 問



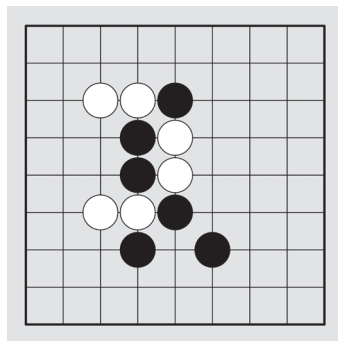
第 127 問



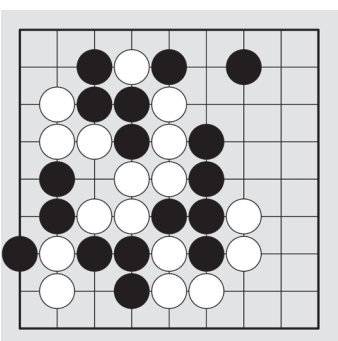
第 131 問



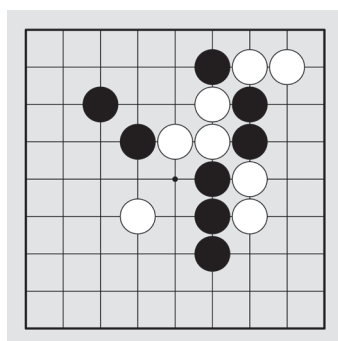
第 128 問



第 132 問

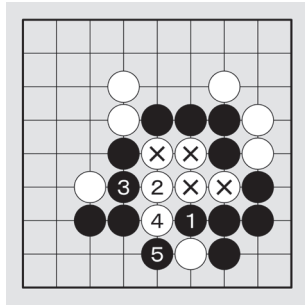


第 129 問

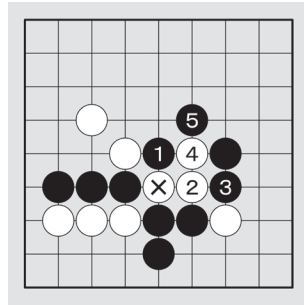


黒番です。5手先まで置いて
シチヨウで白を取ってください

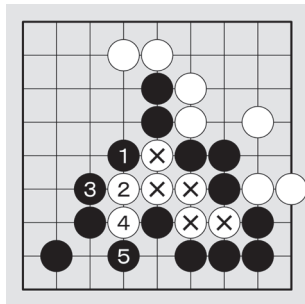
第 130 問



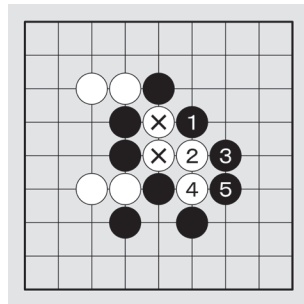
第 127 問



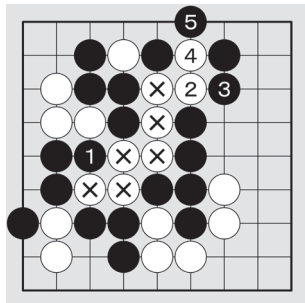
第 131 問



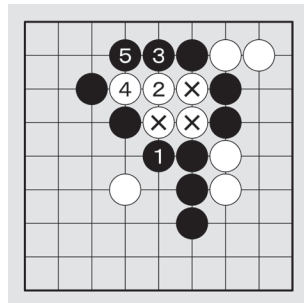
第 128 問



第 132 問

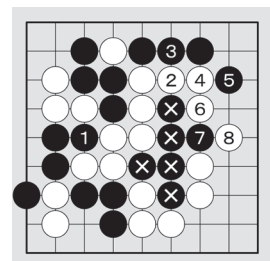


第 129 問



第 132 問 参考

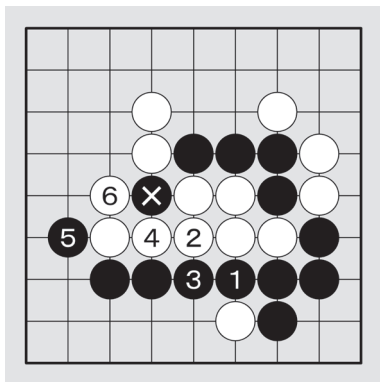
①は正解でも、②に逃げられた時に③の手では失敗です。④と置かれて、白の手数が2手になりました。⑤とアタリをしても⑥に逃げられて、⑦に対して⑧で黒6子が取られてしまいます。最後まで相手の手数を読んで追い込みましょう。



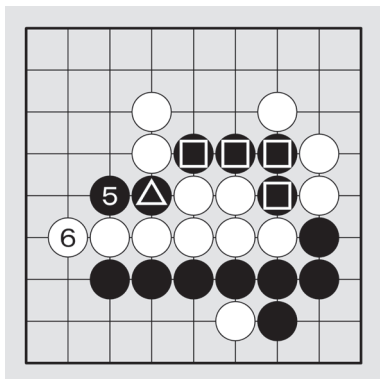
解説

1図は第130問の失敗例です。正解図と同じ①から攻めたとしても、②の時に③の手だと失敗です。④で左側の白とつながられたうえに、⑥で⊗が取られてしまいました。これでは、とても白を取ることはできません。

1図

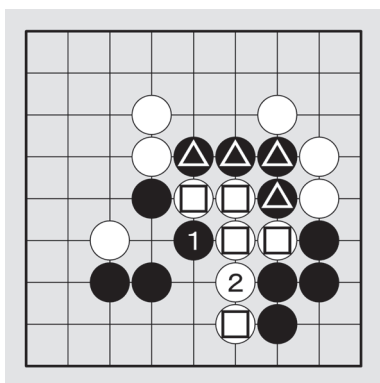


2図



たとえば黒1子を助けようとして、2図の⑤で△とつながりながら白をアタリにしても、⑥に逃げられてしまいます。白6の手で出ている線が3本に増えた白8子に対し、⑤・△、□の4子はそれぞれ2本ずつなので、い

3図



れ黒が取られそうです。3図の①から追いかける手は②へとつながれてしまい、②・⑥の6子から出ている線が3本になってしまいます。シチョウで追うことはできません。△4子は残り2本しかないので、取られる運命です。

おわりに

『囲碁入門ネクスト①』を終えて、いかがでしたか。囲碁の奥深さを垣間見ることができたでしょうか。

盤上に置かれていった石は一樣の強さではなく、それぞれに強弱があることをご理解いただけたかと思えます。この強弱をもとにして「戦い」が起こり、お互いの石の攻防によって、盤上には黒の多い所と白の多い所ができていきます。自分の強い所では強気に戦い、相手の多い所では気をつけて戦う。場合によっては、無理に戦わずに引き上げるといった判断も重要です。

そのようにして戦った結果として、陣地ができていくのです。お互いが狙っている陣地を「どうぞ、どうぞ」と認め合っていれば戦う必要もありませんが、限りある盤面を取り合う以上はなかなか平和的解決とはいきません。相手の手を考える「読み」が必要なのです。まずは、今回学んだ戦いのコツやテクニックを身につけて、「盤上にできるだけ多くの自分の石を残せる」よう、戦い上手になっていってください。

『囲碁入門ネクスト②』では、強い石と弱い石が戦った最終結果である「石の生き死に」と、それによって徐々にできあがる陣地を巡る戦いのコツ、終局や得点計算などを解説していきます。もし『囲碁入門ネクスト②』でわからないことがあれば、本書に立ち返り、読み直してみてください。

19路盤を目指して、まずは終局までの流れをマスターしましょう。

八段 水間俊文

囲碁入門ネクスト①〈9路盤〉

第5章

監修：棋士 水間 俊文

© NIHONKIIN All Rights Reserved.

〒102-0076 東京都千代田区五番町7-2

公益財団法人 日本棋院

☎ (03) 3288-8723

<https://www.nihonkiin.or.jp/>

本書掲載の文章・図版の無断複製・転載・印刷を禁じます。